

ヴィクトリアフォールズ市長の二者会談

場所：ヴィクトリアフォールズ市庁舎

内容：

- ・COP15 の会場でもある、ヴィクトリアフォールズの市長と会談を行った。
- ・ヴィクトリアフォールズ市も本市と同じく、今回湿地都市として認証された。ヴィクトリアフォールズ市ではごみ問題が深刻化しており、本市の取り組みを紹介し、意見交換等を行った。



会談の様子



プリンス・トゥソ・モヨ市長と環境局担当局長

ラムサール条約事務局長との二者会談

場所：ROOM11A（COP15 会場内）

対応者：ラムサール条約事務局長 ムソンダ・ムンバ氏

内容：

- ・ラムサール条約事務局長であるムソンダ・ムンバ氏と会談を行った。
- ・2024 年 5 月の名古屋来日からこれまでのユースの活動や本市の取り組みを共有し、湿地保全に関する今後の取り組みについて意見交換を行った。



ムソンダ・ムンバ事務局長と環境局担当局長



記念撮影

ラムサール条約湿地都市認証授与式及び湿地都市フォーラム

場所：Plenary Hall（COP15 会場内）

内容：

- ・ラムサール条約湿地都市認証授与式では、新たに湿地都市認証を受けた 31 都市の代表がラムサール条約事務局長より認定証を受け取った。
- ・湿地都市フォーラムでは、新たに湿地都市認証を受けた各都市の代表が、これまでの湿地保全に対する取り組みを発表した。
- ・環境局担当局長は、藤前干潟の保全の歴史と環境教育を進めてきたこと、本市の環境行政の原点として、さらに湿地保全とワイズユースの取り組みを強化していくことを発信した。



認定証授与の様子



発表の様子

イクレイ CBC 主催サイドイベント

「豊かな湿地、繁栄する都市：大胆なリーダーシップと断固たる行動」

場所：Kalala ROOM（COP15 会場内）

内容：

- ・登壇した団体の代表者より、湿地保全に関する取り組みやこれからの行動やその必要性について意見を発信した。
- ・首長級が出席するハイレベル会議において、名古屋市の藤前干潟における保全の取組をユースが発表した。



ユース発表の様子



サイドイベント登壇者と記念撮影

ケープタウン副市長との会談

対応者：ケープタウン副市長 エディ・アンドリュース氏

場所：COP 会場内

内容：

- ・ケープタウン市のごみ問題についての話を聞き、グリーンインフラへの投資や政治の安定を背景に、具体的成果を生む上での政治の役割の大きさが紹介された。
- ・市とユースの連携や次世代への活動継承、学校との協働による環境教育の推進の重要性が確認された。



会談の様子



ケープタウン副市長と記念撮影

ICLEI CBC 環境省主催サイドイベント

「湿地と都市：グローバルリーダーシップ、地域活動—湿地都市認定制度の紹介」

場所：GWAYI ROOM（COP15 会場内）

内容：

- ・ラムサール条約の湿地都市認証制度に焦点をあて、都市景観を回復力に富み、住みやすく、持続可能な空間へと変革する湿地の力を紹介するハイレベルサイドイベント。
- ・ラムサール条約東アジア地域センター（RRC-EA）の徐氏より湿地都市ネットワークの概要と国際協力の拡大における世界的な役割について説明があった。
- ・環境企画部長は、藤前干潟の保全の歴史と本市のごみ減量について説明、現在本市で取り組んでいる保全と環境教育事業、国内外湿地交流事業を紹介し、これからも世界中の湿地都市と共に湿地保全とワイズユースの取り組みをさらに強化すると発信した。



発表の様子



会場の様子